



自立支援センター運営委員会報告

1月11日(土)10～12時

2月8日(土)大雪のため中止

○1月4日(土)13時 新年会(事務所開き)

○公益法人移行後について

- ・2013年11月28日公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構が認可されました。
- ・2014年1月8日 4月以降の東京都聴覚障害者連盟と東京聴覚障害者自立支援センターの新聞・管理・イベント等の役割の詳細について確認をする第1回目の会合がありました。
- ・自立支援センターの構成団体について、登要会は来年度は辞退の申し入れがありました。
- ・公益法人の会員について、自立支援センターの構成団体に問い合わせがありました。
→都サ連も公益法人の会員に加入するかどうか代表者会議で図ります。

○自立支援センターのパンフレット出来上がりました。

○成年後見制度事業を始めます。

○ふれあいサロン

2月8日(土)大雪により中止

○来年度の上級手話教室について

耳の日記念文化祭でチラシを配布します。

○耳の日記念文化祭には例年通り甘酒とおしるこバザーをします。

次回運営委員会は3月8日(土)10時から

(文責 杉石)

耳の日へGO!

今年43回目になる「耳の日記念文化祭」が、3月1日(土)・2日(日)に行われます。

式典・講演会は「港区立男女平等参画センター(リーブラ)」、バザー・書籍販売・模擬店・軽食など、販売を伴うものは「都立障害者福祉会館」、福祉機器・団体活動紹介等の展示は、「港勤労福祉会館2F体育館(3/2のみ)」と、企画別に会場が3ヶ所に分かれています。

今年は、都サ連も活動展示に参加いたしますので、是非、勤労福祉会館の体育館にも足をお運びください。1つご注意です。

昨年講演会が余りにも人気で会場が混乱してしまったので、その反省から講演会は前売り券をお持ちの方が優先になるそうです。昨年の様子から、前売り券をお持ちの方で満席になり、当日券の方は入れない可能性が大きいです。

…ということで、チケットは、地域ろう協にありますので、出来るだけ前売り券をお買い求めください。また、このイベントを支えるための要員が延べ100名くらい必要です。要員募集中ですので、沢山の方のご協力をお願いいたします。(文責 河野)

広報班の活動報告

サークル訪問記 ～中野「だるま会」～

12月3日(火)午前10時に中野駅から徒歩3分のスマイル中野に「だるま会」を単独訪問しました。

中馬会長ほか、ろう者5名を含む40名弱の会員の皆さんに温かく迎えて頂きました。当日は交流の日とのことで特別にケーキの準備もあり、4グループに分かれた室内は家庭的な雰囲気に溢れていました。最初に時間を頂き、日頃の行事や会議への協力のお礼を述べた後で 1、訪問の目的 2、都内のサークルの様子 3、今の都サ連の会議の中味 4、今後の課題 などの説明をさせて頂きました。そして順番にグループを回り、ろう者を中心に手話での交流に盛り上がりました。最近では会員数、定例会の参加人数も増加傾向にあるとの会長からのお話もありこの雰囲気なら当然だと思いました。手話への取り組み方も真面目で、ろう者も目を細めていました。夜サークルが少し集まりが悪いとの課題もあるようですが、これだけお昼が盛り上がりさえあれば解決できるに違いない、と考えながら帰って来ました。だるま会の皆さん、有難うございました。またお会いしましょう。

(文責 広報班 山崎)

福祉対策会議報告(2月3日)

- ・パンフレット『障害者差別解消法ってなに?』(JDF 発行)が各団体に2部ずつ配布された。
 - ・公益社団法人としてスタートした東聴連は、1月の社員総会にて旧法人解散を報告。今後は、他団体も社員として入会可能、会費は15,000円。3月の評議委員会にて補充選挙とポスト会議を行い、事業日程を決める予定。
 - ・中難協は、2/23(日)「聞こえの商店街」(於:サンライズホール)を開催予定。参加企業は、約20社。詳細はHPにて。
 - ・全難聴は、新たに団体のロゴマークを作成した。これは聞こえの向上を目指す意味を示すもので、聞こえの啓発・支援を目的とする「耳マーク」とは異なる。
 - ・東通研は2/15~16の冬集會に参加。4/20(日)の総会時、鳥取県ろうあ団体連合会石橋事務局長を迎え、手話言語条例制定までの道のりを講演いただく予定。
 - ・都サ連は、1/19(日)の一日研修会について報告した。
- ・【教育】2/1(土)第18回ろう教育フォーラム in 東京を開催、161名の参加者があった。8/2~3の第26回ろう教育を考える全国討論集會 in 東京(準備が進展中)につながると確信したが、会場の広さが課題か。
- ・【参政権】東京都知事選挙政見放送には、立候補者16名中15名に手話通訳がついた。投票日前日の2/8(土)にビデオ上映会(於:小金井萌え木ホール)を実施。選挙直前、政策アンケートを実施したところ、3名の立候補者からの回答を得ており、東聴連HPに掲載した。青年会議所主催の公開討論会は、立候補者の参加が1名のみのため中止になった。
- ・【災害対策】1/26(土)災害学習会を開催。第一部は、気象庁地震津波対策担当者を講師に迎えての出前講座。CGによるシミュレーションで、地震と津波のメカニズムを興味深く学習。第二部は区市の取り組み紹介。8協会が参加し、昭島市、豊島区、墨田区から報告された。難航していた手話ボランティア協定がようやく進展し、3月にも協定の運びとなった。東京連合防火協会から、以前のバンダナに続き、支援の目印のためのベスト(オレンジ色で背面に「手話」の文字)の提供を受ける予定。
- ・東京都で手話言語条例制定となると大変長い時間を要すると思われるので、都議会に対し、意見書を提出する方向で作業中。
 - ・手話言語法について、さらに、耳の日記念文化祭記念誌に掲載するなどの取り組みを検討中。
 - ・第33回地域担当者会議は、3月20日頃に開催予定。

(文責:委員 林)

参政権保障委員会報告(2014/1/20)

参政権保障委員会では、毎月第3月曜日に定期会議を開催しています。

●都知事選挙見放送ビデオ上映会

2/8(土)小金井市萌え木ホールにて、東京都知事選挙の政見放送ビデオ上映会を行なった。大雪の中、ろう者19名を含む20名以上の参加があった。当日アンケートを取ったが、結果・考察についてはまとめ中。次回の委員会で反省点もふくめてまとめる予定。

●東京都選挙管理委員会との懇談会

都知事選の影響で延期になったままだが、3月頃には行いたい。

●来年度の活動について

来年度の活動について、話し合いを進めている。メーリングリストも、受信者を整理し4月以降新しくスタートする予定。

2月は17日の予定(日時・場所は未定)

(事務局 三村)

「都サ連一日研修会」

去る1月19日(日)都立大塚ろう学校体育館で恒例の事務局企画の研修会が開かれました。午前中は「みんなの手話」や「ろう難聴を生きる」で有名な佐田明氏の講演。ユーダとしての生い立ちを、ご家族のビデオや写真と共に語って下さいました。小さい時から進路も自分で決めなければならず、精神的に自立が早かったそうです。新潟にご健在のご両親の様子も含めてもっと観たいもっと聞きたいと言う声が上がっていました。昼休みをはさみ午後は元東京学芸大学教授の岸本義弘氏の講演です。「ユニバーサルデザイン」について専門的なお話を実際の商品を見せながら分かり易く説明して下さいました。バリアフリーという言葉は前提として社会のバリアを容認してしまっている。これからは障害者、高齢者と分別するのではなく、全ての人に使いやすいユニバーサルデザインの時代なのだを教えて下さいました。東通研、たましろ、全日ろう連の販売ブースも好評で有意義な研修会となりました。御招待の国分寺の「ひろば」、国学院大学、武蔵野大学、法政大学、北里大学の皆さん、そして加盟サークルの皆さん有難うございました。手話通訳の方々をはじめ要員の皆さんお疲れ様でした。

(広報班 山崎)